

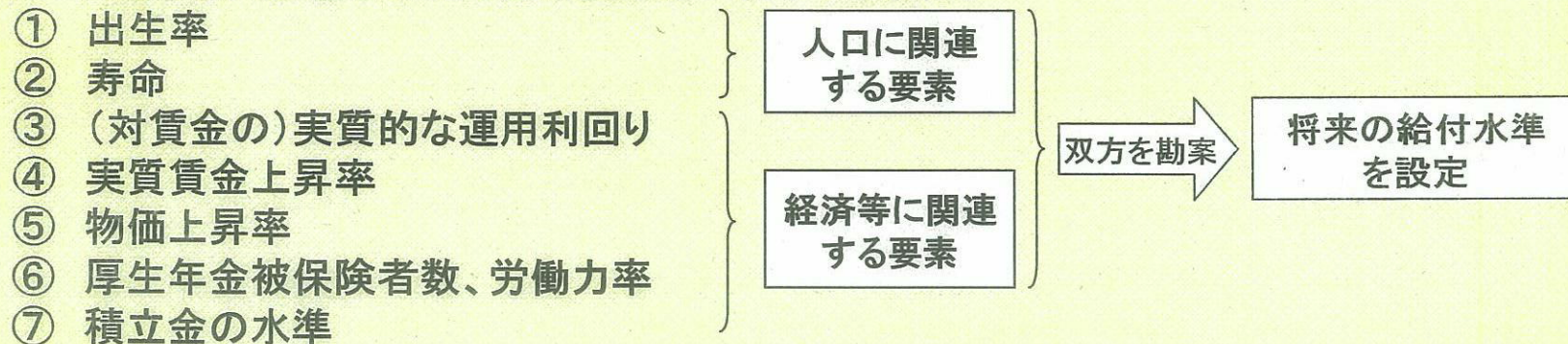
年金財政の基本構造と将来の給付水準について

- 年金財政は、おおむね100年間にわたり、給付と負担の均衡を図っている。
(平成16年財政再計算では、2005年度から2100年度まで)

<平成16年財政再計算の前提>

- ① 負担については、
- ・ 保険料は毎年段階的に引上げ、2017年度以降は水準を固定(18.3%)
 - ・ 国庫負担は、2009年度から基礎年金給付費の1/2
- ② 給付については、
- ・ 財源(保険料、国庫負担、積立金及びその運用収入)の範囲内で給付を行うとの考え方に立ち、「マクロ経済スライド」の仕組みによって給付水準を調整

- 年金財政に影響を与える主な要素は、以下のとおり。



- 将来の給付水準(所得代替率)は、これらの要素の今後の見通しを総合した結果として定まるもの。